

法人（事業所）理念		法人理念「子どもにあたたかい社会づくり及びすべての人がその人らしく生きていける社会の実現」 事業所理念「みんなで育つ・みんなで育む」をテーマに、子どもたちが社会的に自立するために必要なスキルを身に付けられる療育を提供する。				
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・他者を意識し行動できる子、挨拶ができる子を育てます。 ・『自分でやる』『自分でできる』体験を増やし、自分の特性（個性）を理解し、自分らしい生活を自己決定する力を育てます。 ・社会（仕事）のしくみを体験することで、大人（社会的な自立）への準備を少しずつ進めます。 				
営業時間		月～金 13時00分から 17時00分まで	送迎実施の有無		あり	
学校休業日		月～金 10時00分から 16時00分まで				
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・生活リズム（食事や睡眠、身体の調子）の確認を行い、自分の体調や気持ちに目を向けさせます。さらに、自分の気持ちをモニタリングし、感情を客観的に表す（気持ちに名前をつける、感情をレベル化して表す、状況を視覚化して把握する）ことで対応方法や解決方法を一緒に考えます。 ・気温に応じて衣服の調整を学んだり、身だしなみを整える練習、荷物の管理等を日常的に実施し、自分のことは自分でできるよう支援します。 ・自分でおやつを選ぶ活動や実際におやつや軽食を作る活動等を通して、食への関心や理解を深め、さまざまな味にチャレンジすることにつなげていく。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの実態にあわせて、取り組みやすい読み書き計算の方法や宿題をやり遂げる方法を身に付けられるよう支援します。 ・軽スポーツを通じて身体感覚への働きかけを行い、身体の協調性やバランス感覚を促進します。またマインドfulnessやスノーズレンコーナーを活用し、ストレスや過剰な刺激に対処するためのリラクセス方法を身に付けられるよう支援します。 ・製作活動を通じて指先の動きをコントロールする力をつけていきます。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・タイムテーブルの確認により、時間を意識することや見通しをもつことができるように支援します。 ・小集団での楽しい遊びや関わりの中で、ルールの明確化と振り返りを行い、自分の気持ちを認知し他者と折り合う経験・前向きな言葉かけ・適切な行動がとれるように支援します。 ・季節行事や園芸療法を通じて、季節の変化への興味などを育てていきます。 ・アセスメントに基づき、個々の自立課題に取り組み自己有能感や自己肯定感を育てます。 				
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちとルールのあるゲーム活動やコミュニケーションが必要なレクリエーション等を実施し、周囲との適切な関わり方を身に付けられるよう支援します。 ・TP01に応じた挨拶の言葉や会話を通じて社会的に通用するマナーやコミュニケーションの取り方を学べるよう支援します。 ・絵本の読み聞かせ、文章作り等の活動を通じて語彙を増やせるように支援します。 				
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解、他者理解について個々の理解度や特性に応じて相手の気持ちの理解や場にあった行動、言葉かけが行えるように支援します。また、自分の気持ちを他者に適切に表現できるよう支援します。 ・販売活動や事務作業補助等の活動を通じて、仕事の基礎や社会の仕組みを学べるように支援します。 ・小集団でレクリエーションやソーシャルスキルトレーニング等を実施し、対人関係の基礎を学べるよう支援します。また、自由遊びの時間においては、遊びの発達段階が発展するように職員が仲介しながら関わったり、子ども同士で1つの遊びを実施し、ルールや協調性を学び、社会性の向上を支援します。 				
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまが地域社会に参加しやすい環境を整えるため、必要に応じて関係機関との連携を行います。 ・保護者の皆様との情報交換の機会を積極的に設け、療育内容やご本人との関わり方について共に考え、支援方針を共有します。 ・きょうだいとの相互影響も多くみられることから、弊所に通うお子さまだけでなく同居するきょうだいに関しても配慮して支援します。 		移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族に寄り添い安心して生活を送れるようにするため、必要に応じてお子さまの情報共有や相談援助等を実施します。 ・進学、就労に関する情報提供や関連事業所との連携を行い、お子さまのライフステージの変化をふまえて保護者・関係機関と連携しながら、その先”を共に見つめる支援を行います
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さまの支援体制の構築を図るため、必要に応じて学校、放課後児童クラブ等の子育て支援機関等との連携を実施します。 ・お子さま、ご家族に関する機関と、支援方針を検討するための会議を開催します。 ・お子さま、ご家族のことにに関して、医療機関等の専門機関や主任児童委員などの地域関係者と必要に応じた連携を行います。 ・法人運営の児童クラブ行事への参加・協力、情報交換や自治会加入もを行い、地域との“つながり”を日常の中で感じられるよう工夫します。 		職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・法人研修への定期的な参加、関係機関主催研修への積極的な参加を行い、職員の資質の向上をはかります。 ・事業所内研修、学習会、ケース会議を定期的に行い障害の特性に応じた対応について職員間で共有します。 ・地域の学校、福祉サービス事業所見学を実施し、情報の収集を行います。
主な行事等		季節のイベント（七夕、お月見、ハロウィン、クリスマス、お正月、節分、ひな祭り）、避難訓練（年2回以上の実施）、お出かけイベント、お楽しみランチ（外食をしたり、児童自身が注文をしてお弁当を買ってくるイベント）、おやつ作り、収穫祭、近隣施設の利用（図書館、コミュニティセンター、大学）、働く先輩に聞いてみよう				